

28. 6. 7  
海上幕僚監部

(お知らせ)

平成28年度米国派遣訓練 (RIMPAC2016) への参加について

海上自衛隊は、次により平成28年度米国派遣訓練を実施します。

#### 1 目的

米海軍の協力を得て、戦術技量の向上を図る。また、米海軍が主催する多国間共同訓練RIMPAC2016に参加し、海上自衛隊の各種技量の向上を図るとともに、参加各国軍との信頼関係及び相互理解の増進を図る。

#### 2 期間

平成28年6月7日(火)～8月23日(火)

(RIMPAC2016:平成28年6月30日(木)～8月4日(木))

#### 3 場所

ハワイ及び米国西海岸並びにこれらの周辺海空域

#### 4 派遣部隊

##### (1) 派遣護衛艦部隊

指揮官: 第3護衛隊群司令 海将補 眞鍋 浩司 (まなべ こうじ)

艦艇: 護衛艦「ちょうかい」、「ひゅうが」(搭載航空機3機)

人員: 約650名

##### (2) 派遣掃海部隊

指揮官: 掃海隊群司令部水中処分班長 2等海佐 田村 進 (たむらすすむ)

人員: 約5名

##### (3) 派遣航空部隊

指揮官: 第21飛行隊長 2等海佐 片山 稔文 (かたやま としふみ)

航空機: P-3C哨戒機 2機

人員: 約70名

## 5 RIMPAC2016参加国等

### (1) 参加予定国（27か国）

米国、オーストラリア、ブラジル、ブルネイ、カナダ、チリ、コロンビア、デンマーク、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、日本、マレーシア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、中国、ペルー、フィリピン、韓国、シンガポール、タイ、トンガ、英国

※下線は初参加国

### (2) 参加予定兵力

艦艇45隻、潜水艦5隻、航空機200機以上、人員約25,000人以上

### (3) 訓練内容

海上自衛隊は、対潜戦・対水上戦・対空戦・対機雷戦等各種戦術訓練を実施するほか、ミサイル発射訓練、海賊対処及びHA／DRに係る訓練等を実施します。

また、日本からハワイまでの航程において、アジア方面からRIMPACに参加する日・米・印・インドネシア・シンガポールによる巡航訓練を実施します。

※ HA／DR (Humanitarian Assistance／Disaster Relief : 人道支援・災害救援)

## 6 その他

RIMPACは、1971年からほぼ隔年実施され、今回で25回目となります。また、海上自衛隊は1980年から参加しており、今回で19回目の参加となります。